

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第17回 HWC標準作業会 議事録

1. 日時 : 平成25年3月6日(水) 14:00~16:30
2. 場所 : 日本原子力発電(株) 本店 2階 第1会議室
3. 出席者 : (敬称略)
(委員) 内田、高木、和田、小野、谷(太田_主代理)、久宗、寺門
(常時参加者) 北島、山本、塙、上山
4. 配布資料 :
 - 17-1 第16回 HWC標準作業会 議事録(案)
 - 17-2 沸騰水型原子炉一次冷却系の腐食環境の解析評価方法(案)
(HWC標準原案)
5. 議事概要 :

前回作業会での議論を踏まえて修正したHWC標準原案の内容について、検討を行った。

 - (1) 出席者の確認
出席者の確認を行い、委員8名中7名出席しており、必要な定足数を満足していることを確認した。
 - (2) 前回議事録確認
久宗幹事より、資料17-1「第16回 HWC標準作業会 議事録(案)」の説明があり原案どおり承認された。
 - (3) 標準原案の検討
高木副主査、内田主査、山本常時参加者、和田委員より資料17-2の説明があり、HWC標準原案の前回からの修正箇所について検討した。
 - ① 高木副主査よりHWC標準原案の「まえがき」および「6.1 解析計画及びプロセスの明確化」の修正箇所について説明があった。特にコメント等は出されなかった。
 - ② 内田主査よりHWC標準原案の「3.10 検証と妥当性確認(V&V)」、「3.11 検証(Verification)」、「3.12 妥当性確認(Validation)」に関する説明があった。
 - a) 3.10に記載されている“結果の妥当性の検証(Verification)”は、“結果の妥当性の確認(Validation)”と修文することとした。
 - ③ 内田主査より、HWC標準原案の「6.3 解析コードの検証」、「6.4 解析の妥当性確認」、「6.5 計算コードの実機への適用範囲」、「6.6 解析手順の妥当性確認」の修正箇所について説明があった。
 - a) 6.4に記載されている“結果の妥当性の検証(Verification)”は、“結果の妥当性の確認(Validation)”と修文することとした。
 - b) 6.4.1.1に記載されている“ファクター5以内(+500%, -80%)”は、“ファクター5以内(+400%, -80%)”と修文することとした。
 - c) 6.6に記載されている“(社内レビュー, 受発注者間のレビュー, あるいは大学等研究機関の専門家のレビュー)”については、標準に記載すべき内容ではないため、削除することとした。また、同項には解析手順の妥当性を確認できる適用範囲を明記することとした。

- ④ 山本常時参加者よりHWC標準原案の「6.2.1.1 ラジオリシス解析」の修正箇所について説明があった。
 - a) マスバランスは、液相だけでなく気相についても考慮し、標準原案に反映することとした。
- ⑤ 和田委員より、HWC標準原案の「6.2.1.2 腐食電位解析」の修正箇所について説明があった。特にコメント等は出されなかった。
- ⑥ その他
 - a) 現状本文中に記載されている内容で、附属書や解説に転載すべきにはものについては、今後の議論で決定することとした。
 - b) 標準原案の本文中で引用されていない「附属書 A (参考) 短期水素注入調査」について、本文中で言及することとした。

(4) 今後の進め方

今回提示した原案の修正版を内田主査が通読して確認し、全体を修正することとした。修正した原案は、4月17日(水)までに久宗委員にメール送付し、次回作業会(4月18日(木))にて確認することとした。また、作業会で確認後の標準原案を次回分科会(5月上旬予定)に諮ることとした。

(5) その他

次回(第18回HWC標準作業会)は、4月18日(木)14:00～17:00に原電本店2階/第1会議室で開催する。

以上